

不採択

福島県内すべての原発の廃炉の決議を求める請願書

【請願者】

福島県母親連絡会
代表委員 山崎 満子
(福島市舟場町)
【紹介議員】
畑中 大子

【要旨】

福島県が策定した「福島県復興ビジョン」の「基本理念」の1つとして「原子力に依存しない安全・安心で持続的に発展可能な社会づくり」が掲げられ、県議会では「第一、第二原発の全基廃炉の決議」が全会一致で採択されました。また6月議会までに県内49市町村議会で決議がされ、残り10市町村の意思表明が求められています。

賛成 塩 史子議員

大地の恵みを残すことが私たちの責務

未来に生きる子どもたちが、核、放射能に怯えることなく、暮らせるよう大地の恵みを残すことが私たちの責務と考えます。このような事故は2度と起こしてはなりません。また、雇用という原発の経済効果を欲目でみても、被害を受けた議会が意思を表す良い機会と考え、賛成します。

【賛成】
畑中 大子
門馬 巧
塩 史子

反対 渡邊 正俊議員

議会でのしっかりした議論必要

請願書の趣旨は福島県内の廃炉を求めるものです。これを求めるのであれば、全国の原子力発電所の廃炉を求めるものが趣旨だと考えます。広野町議会として、しっかりした議論がまだ、なされていません。十分に議論し、議会の意見として決定していくべきと考え、現時点で反対します。

【反対】
門馬まりえ
小磯利雄
北郷幹夫
遠藤 智
渡邊正俊
黒田政徳
渡辺久長
坂本紀一

【討論】

討論の結果、賛成3、反対8で不採択となりました。

2議案を全会一致で承認・可決

7月24日に第4回臨時議会を開きました。広野町役場湯本出張所設置条例を廃止する条例や平成24年度広野町一般会計補正予算について、全会一致で可決されました。

一般会計補正予算についての質疑では、再生可能エネルギー導入事業費の取り組みや、町で造成した宅地の被害の有無の質問がされました。

再生可能エネルギー導入事業費など
1億5,779万円を追加計上

第4回臨時会

【補正の結果】

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	1億5,779万円	145億1,860万円
● 主な内容 ●		
＜歳入＞		
復興交付金		1億3,062万円
＜歳出＞		
復興交付金積立金		1億3,062万円
造成宅地滑動崩落緊急対策事業費 (測量設計委託料)		2,100万円
再生可能エネルギー導入事業費 (調査委託料)		252万円
職員臨時駐車場整備工事費		215万円

※金額は、全て万円未満を切り捨てて表示しています。

採択

議員発議で意見書を国に提出
地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

提出者 坂本 紀一

賛成者 門馬 巧
小磯 利雄

【要旨】

地球温暖化防止をより確実なものとするためには、森林の整備・保全等の森林吸収源対策や豊富な自然環境が生み出す再生可能エネルギーの活用などの取り組みを山村地域の市町村が主体的・総合的に実施することが不可欠である。二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築すること。

【提出先】

内閣総理大臣
財務大臣
総務大臣
国家戦略担当大臣
農林水産大臣
環境大臣
経済産業大臣
衆議院議長
参議院議長



町内を流れる浅見川渓谷

工事請負契約を全会一致で可決

8月7日に第5回臨時議会を開きました。広野中学校実習棟災害復旧改築工事請負契約について審議し、全会一致で可決されました。

質疑では、契約先の主たる事務所がどこに避難しているかを把握し、事業を執行するようにとの意見が出されました。



改修中の中学校実習棟

第5回臨時会 中学校実習棟災害復旧改築工事

田中・西本特定建設工事共同企業体と契約

第5回臨時会

工事の名称 広野中学校実習棟災害復旧改修工事
工事の場所 大字下浅見川字築地12番地内
工期 着工：平成24年8月8日
完成：平成25年3月22日
工事代金 1億4,175万円
請負者 田中・西本特定建設工事共同企業体